

平成25年度各会計予算 に対する各会派の

意見表明

【要旨】

自民党豊島区議団

平成25年度一般会計予算及び3特別会計予算に賛成の立場から意見を述べる。

本予算は、厳しい財政環境の中でも、区民ニーズに対応した148の新規・拡充事業を盛り込むとともに、防災対策やセーフティコミュニティへの取組みなどに重点をおき、創意・工夫され、「安全・安心創造都市」を着実に実現する予算として評価する。

款別に意見を述べると、総務費では、Wi-Fiスポットの整備については、様々な活用の展開も含め継続的な取組みを望む。また、帰宅困難者対策については、一時滞在施設との協定を結ぶ方向で進めることを要望する。福祉費では、高齢者の見守り事業については、地域の中で横のつながりを持つことが孤独・孤立に対応する一番の糧となるので、地域包括の取組みをしっかりとし、最大限の支援を。清掃環境費・都市整備費・土木費では、PM2.5に対する対策は、区のレベルでは難しいとのことだが、仮に数値の悪化がみられる場合には、迅速、適切な対応を。文化商工費・教育費では、厳しい状況が続いているので、中小企業のサポートを。いじめ問題については、感謝の心を持った人間関係の構築を目指して、「心の教育」を並行して進めながら取り組むことを望む。

公明党

平成25年度一般会計及び3特別会計予算は、財政健全化を進めながら区民生活に欠かせない事業への展開に取り組む区の姿勢を認め、可決することに賛成の立場から意見を述べる。以下

主な意見を述べる。一刻も早い待機児童解消は、喫緊にして徹底した取組みを望む。がんに関する教育をはじめ、検診勧奨の継続と拡充、ピロリ菌のABC検査の早期実施、子宮頸がんHPV検査導入、子宮頸がんワクチンの安全性・有効性についての情報提供、がん先進医療ローン利子補給の周知等、区民の命を守る取組みを望む。被災地支援策の「猪苗代四季の里」宿泊費補助やサロンへの継続支援を望む。災害時の要援護者対策の推進や医療体制の救急病院との十分な協議を望む。老朽建物対策として解体費の一部助成等を望む。トキワ荘などアニメの聖地としての区の魅力発信に向けた取組みを望む。区スポーツ施設の夜間利用時間の延長を望む。ビジネスサポートセンターと企業支援サイトの更なる充実等を望む。学校図書館蔵書の充実を望む。また、学校施設の改修は国の緊急経済対策等交付金を活用して早期の実施を望む。セーフティコミュニティ国際認証都市として「虐待と暴力のないまちづくり宣言」への取組みを望む。

日本共産党

一般会計予算及び3特別会計予算に反対である。

第一に、区民の切実な要望にこたえていないからである。増加する保育園の待機児童の抜本的解消策、緊急策もない。待機者に見合った特養ホームの増設計画になっていない。公営住宅建設、家賃補助制度も不十分。救援センターの削減、就学援助の拡充や教育の私費負担の軽減策もない。第二に、大型開発優先で区民が安心して住み続けられる街づくりになっていないからである。都市計画道路・特定整備路線の推進は、住民を追い出し、コミュニティを分断する。道路整備だけでは防災上も不十分。新庁舎建設、東西デッキ、LRTなど、多額の財政負担や環境の悪化など将来にわたり莫大な付けを区民に負わせるもの。第三に、区民生活を守る自治体本来の役割を果たしていないからである。「総点検」「枠内配分」でくらし、福祉を削減。障害者団体からの会場使用料徴収や保育料の値上げ、財調基金積立優先など、看過できない問題である。また、保険料の大幅値上げをする国民健康保険、高齢者を差別する後期高齢者医療、必要なサービスが受けられない介護保険の3特別会計予算も反対。

自治みらい

平成25年度、一般会計予算・3特別会計予算に、賛成の立場で、意見を述べる。

改めて事業の「総点検」を行い、随意契約等の見直しを行ったことを評価し、不断の行財政改革の取組みを期待する。以下個別に述べる。帰宅困難者対策は、一時滞在施設不足に対し、都と連携し積極的な対応を。未婚のひとり親に対するみなし寡婦制度適用の検討を。急増する保育園の待機児への緊急対策と、保育の質の担保を望む。予防接種法の改正に伴う財源負担を、国に強く求めていくべき。児童遊園の一部が都市公園になるが、条例等で禁煙を担保することを望む。マンション管理推進条例施行にあたり、管理組合等への実情に即したサポートを。防災基本条例制定による災害要援護者名簿の取扱いについては、各所管連携し丁寧な施策展開を。子どものヘルメット助成は、学校間で格差を生まないよう行うべき。木密不燃化10年プロジェクト・特定整備路線は、当該地に住む人々の生活が守られ地域コミュニティが壊れないよう丁寧な対応を。基金は、将来への備えとして、中長期の計画的な積立を。基礎自治体として、人に寄り添う観点を大切にした、施策展開を要望する。

みんな・無所属刷新の会

平成25年度一般会計予算案及び3特別会計予算案について幾つかの懸念点はあるものの概ね了として賛成意見を述べる。

今回は「区民の利益」との視点で質疑をした。より時代に合った積極的な予算に加え、区民の利益にならない事業は廃止や縮小が必要との考えを表明した。区庁舎移転関連事業に関して、移転後の現庁舎跡地の活用が未定。区職員の長期病休87名という状態の健全化。シティプロモーション課の活用。利用者ニーズに合う、選択可能なサービスを提供で、子育て環境の充実。有効な区民健診の実施。放射性物質やPM2.5などの大気汚染の対応と情報提供。受動及び路上喫煙防止等の対策。自転車駐車場の整備。区民ニーズと乖離する区有施設の見直し。マンガ・アニメ文化を推進し、世界に発信できる文化の成長政策。公益法人とし未来文化財団は民間活力を導入。いじめや不登校問題に対する積極的な介入。国保事業は、特定健診・特定保健指導の有用な実施。IT技術活用で効率の良い仕事や重複業務の見直し等を表明した。今回の本委員会は「区民の利益」をテーマに審議を行い、より効率的で区民のためになる行政を目指し、豊島区民のために予算があると考える。

防災・震災対策調査 特別委員会視察報告

本委員会は25年1月29日から30日にかけて、新潟県長岡市及び柏崎市を視察しました。

一昨年は東日本大震災の発生を受け12月に仙台市・釜石市を視察しましたが、今回は震災復興への取組みや避難所問題、被災状況に係る情報管理のあり方について重点的に調査を行いました。

中越地震・中越沖地震の被災地である長岡市では、その経験を踏まえた防災対策への取組み、災害情報システムの整備状況、防災シビックコア地区(市民防災センター等)及び避難所機能を備えた中学校(長岡市立東中学校)を取材しました。

また、同じく被災地である柏崎市では、被災者支援システム(り災証明書発行システム等)及びえんま通り商店街の復興状況について調査しました。

なお、視察の詳細については、ホームページ掲載の視察報告書をご覧ください。



長岡市危機管理防災本部

住所変更のお知らせ

藤本 きんじ議員
新住所
高田1-17-18